

## 令和5年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名： 山形県  
 農業委員会名： 鮭川村

## I 農業委員会の状況(令和5年4月1日現在)

## 1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 R2 年 4 月 13 日

任期満了年月日 R5 年 4 月 13 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	7	7
認定農業者	—	3
認定農業者に準ずる者	—	3
女性	—	1
40代以下	—	
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	4	4	9

## 2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	430
農業経営体数	394

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	426
女性	137
40代以下	51

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	190
基本構想水準到達者	25
認定新規就農者	5
農業参入法人	18
集落営農経営	2
特定農業団体	0
集落営農組織	2

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	計			
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	1,760	241	241	0	0	2,000

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

## II 最適化活動の目標

### 1 最適化活動の成果目標

#### (1) 農地の集積

##### ① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)/(A)
	2,000.00 ha	1,104.46 ha	55.2 %
課題	農業従事者の減少・高齢化等による耕作放棄地の増加、農地の分散錯圃等が農地の確保・有効利用を図る上での課題となっている。地域の担い手については、地区によっては認定農業者がいない地区もあるのが現状。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

##### ② 目標

農地の集積の目標年度	令和15年度	集積率	85.0 %
今年度の新規集積面積	452 ha	農地面積(C)	2,000 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	1,600 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)/(C)	57.2 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

#### (2) 遊休農地の解消

##### ① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	33.88 ha	33.88 ha	0 ha
課題	遊休農地となっている旧中部牧場の貸付募集や、大平地区の土壌改良が必要		

##### ② 目標

###### ア 既存遊休農地の解消

###### a 緑区分の遊休農地の解消

令和4年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	33.88 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	6.77 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

###### b 黄区分の遊休農地の解消

令和4年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0 ha
--------------------------	------

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	
-------------------------	--

###### イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0 ha
---------------------------	------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	新規参入者	R3年度新規参入者	R4年度新規参入者
	0 経営体	1 経営体	2 経営体
	0 ha	0.97 ha	1.08 ha
課題	親元就農については増加傾向にあるが、縁故のない新規参入者は以前から増加していない。定住支援等の農業以外での支援もないと増加につながらないと思われる。 また、下限面積である「50a」が障害となり、農業への参入が難しくなっている可能性がある。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	R2年度	R3年度	R4年度	平均
	59.22 ha	38.47 ha	72.45 ha	56.71 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積			6.0 ha	

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	7 人
		農地利用最適化推進委員の人数	4 人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	3 回	
取組時期	取組項目	強化月間の内容
9月	②遊休農地の解消	遊休農地が活用されるよう、農家に対して周知を行う。
11月	③新規参入の促進	新規参入相談月間として、農地の貸借等に関する相談を受ける。
2月	①農地の集積	円滑な権利移動ができるよう、広報誌やリーフレット等を活用し、農業経営基盤強化促進法による利用権設定の制度等の周知を実施

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	2 回		
開催時期	12月～3月	相談会名	集落座談会
参加者数	11名	開催場所	各地区公民館
相談会の内容	農地中間管理事業を含め、貸し手・出し手の応募、把握および新規就農者の確保に努める。		
開催時期	12月～3月	相談会名	地域計画の集落検討会
参加者数	11名	開催場所	各地区公民館
相談会の内容	・地域計画の座談会や検討委員会に参加し、担い手への農地の利用集積に向けたあっせん活動を行う。		

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)